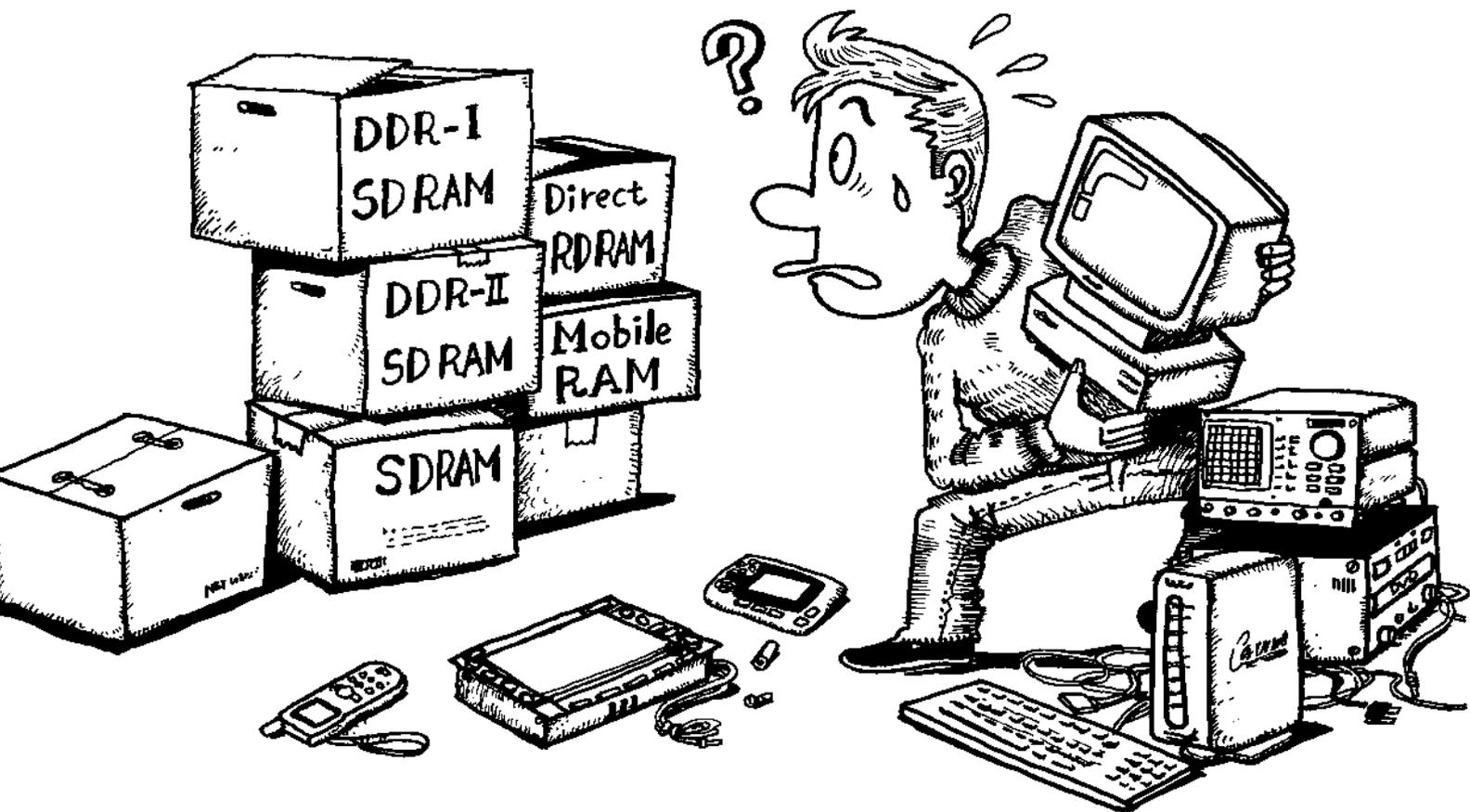


メモリ・デバイス 適材適所



DRAMは各種アプリケーションに用いられており、その市場ごとに要求される性能は異なっています。そのため、DRAMの機能は多様化し、新しい規格が続々と登場してきています。このような背景から、どのDRAMをどういったアプリケーションに利用すればよいのかという判断が難しくなっているのではないのでしょうか。そこで特集2では、まず多種多様なDRAM規格をアプリケーションごとに整理します。また、DDR SDRAMを採用する際に知っておかなければならない知識や、携帯機器向けメモリの市場動向について解説します。



第1章

DRAMをどう使うか？

池田博明

性能の改善技術とその性能を生かす選択方法

第2章

DDR SDRAMの動作を把握する

井倉将実

追加された機能、削られた機能

第3章

**1トランジスタ構成の疑似SRAMは
携帯機器分野で開花するか？**

Rajesh Manapat,
Manoj Roge

バッテリー寿命、高集積度への市場要求に対する一つの答え